

# 平成27年度予算見積調書

課室名：農産物安全課  
 担当名：有機・安全生産担当  
 内線：4057

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B33	埼玉スマートGAP推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	安全安心農産物確保対策費	
事業期間	平成26年度～平成28年度	根拠法令	なし				戦略項目	08	埼玉農業の競争力強化
							分野施策	010404	食の安全・安心の確保
<p>1 事業の概要</p> <p>県産農産物の安全に対する信頼性の向上を図るため、県独自のGAP(S-GAP)の仕様を策定し、担い手の拡大を推進する。</p> <p>(1) GAP普及事業 4,002千円                      (2) S-GAP策定事業 1,568千円                      (3) S-GAP推進戦略 3,155千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア GAP普及事業 4,002千円                      GAP普及のため、指導者を養成し、生産者への普及推進を図る。                      ・S-GAP指導者説明会の開催                      ・GAP指導者の養成                      ・指導者によるS-GAP現地指導</p> <p>イ S-GAP策定事業 1,568千円                      S-GAPの仕様の検討及び改訂を行う。                      ・S-GAP検討委員会の開催(計1回、委員11名)                      ・S-GAP実務者会議の開催(計4回)</p> <p>ウ S-GAP推進戦略 3,155千円                      (ア) S-GAPを全県に普及するために、周知の徹底及び農家支援を図る。                      ・特別栽培農産物取組者及びエコファーマーにおいてS-GAPを取組要件化                      ・S-GAP実践者と流通・小売業者等によるブランド構築支援                      ・新規就農者等に対するGAP教育を支援</p> <p>(イ) S-GAP認証準備                      ・GAP認証審査員の養成                      ・認証GAP説明会の開催</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況 なし</p>				<p>(2) 事業計画</p> <p>GAPの普及、S-GAPの仕様検討及び改訂、S-GAPの全県的取組                      【目標】平成28年度までに4,000戸の農家がS-GAPに取り組む。</p>					
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.6人=24,700千円</p>				<p>(3) 事業効果</p> <p>GAP普及率が上昇することにより、県産農産物の安全性が向上する。                      県産農産物のイメージ向上が消費者へのPRとなり、生産者がGAPに取り組むメリットとなる。</p>					
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	8,725							8,725	1,459
前年額	7,266							7,266	